

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	モノづくりのまちシティプライド醸成事業
対象地域	オオサカフヒガシオオサカシ セイブコウギョウシュウセキチク 大阪府東大阪市 西部工業集積地区
対象地域の概要	 東大阪市 【位置図】  【工場跡地が住宅に転換】  【中小企業の集積地】
提案内容の概要	学生がモノづくりの達人を訪問し、異質な者同士の出会いの感動を、聞き書きの手法を用いて地域内外に共有するという『モノづくり体験塾』の実施により、<u>わが国を代表する産業集積の企業・達人がモノづくりを通して培ってきた価値観や地域文化を地域ぐるみで次世代に継承し、まちへの自負の醸成、人材・技術の継承を図る。</u>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	○地域の担い手の減少、コミュニティの衰退 西部工業集積地区は、日本を代表する工業地域でありながら、人が住み、地域活動の盛んな地域である。しかし、その担い手・牽引役を務めていた町工場主や商店主が事業を閉鎖する、高齢化が進む、または地域に住まず地域と縁のない企業が増加するなど、従来の職住一致または職住近接のコミュニティは崩壊の危機にある。工業集積としての産業立地需要は依然非常に高く、地価も最近2年で倍になるほどであるが、ここ15年で人口3割減、事業所2割減、従業員数3割減と、地域を支える担い手が激減している。その結果、住と工の間でのトラブルが発生したり、元気な企業が転出したり、地域への誇りや愛着が希薄になっている。 ○家業の後継者難、技術の途絶え 西部工業集積地区には金属・機械をはじめ多様な製造業業種が集積し、オンリーワン企業も多く存在する。機械や技術の高度化が進んでいるが、今まで親方職人から継承された技術は今の40代が最後の世代。機械設備が進歩した現在、製造業の新規起業は困難なこともあり、日本のモノづくりを支えている家業の基盤技術産業がここ10～20年の間に急速に失われる恐れがあり、産業集積としての地域間競争に不安が残る。 ○現場モノづくり教育ニーズへの受け皿が未整備 高校、特に工業高校は、地域企業への就職率向上、優秀な企業での現場体験やインターンシップを求めていることが明らかになったが、行政や地域での受け入れ窓口がなく、有効な連携が図れていない。
(2) 活動内容の案	活動①：モノづくり体験塾プログラムの策定

	内容：去年実施したプログラムの改善、継続実施への新たなチャレンジ 去年実施し、学生の応募が少なかった、学校との連携の条件や時期があわなかったなどの課題改善や、実施財源を確保するための企業協賛など、継続実施を見据えて以下の工夫を行う。 ・夏休みを有効活用しスケジュールの前倒し、学生（特に高校生）が参加しやすい時期設定 ・モノづくり体験塾の趣旨に賛同いただける学校との連携プログラム構築 ・参加学生同士の交流の機会設置 ・企業協賛の可能性模索
	活動②：参加学生の募集、選定、オリエンテーション開催
	内容：興味のある学校への情報提供、パブリシティを活用した参加者募集 ・特定の学校のインターンシップ受入れ、その他学校への情報提供、プレスリリースによる一般公募 ・参加希望者を対象に、オリエンテーション開催、趣旨説明と聞き書きの実習・習得
	活動③：達人への訪問
	内容：達人と学生のマッチング、学生が自ら達人に連絡をとり訪問、聞き書き&現場体験
	活動④：フォーラム開催（活動成果発表）
	内容：聞き書きの活動報告 ・参加学生・達人の紹介、体験塾の成果発表、学生と達人の対談、学校行事との連携
	活動⑤：地域・対外的なプロモーション
	内容：プロモーションツールの作成、情報発信 ・サイトでの情報発信、各種チラシ作成・配布、パブリシティの活用、聞き書き作品集冊子の作成など
応募団体名	タカイダ 高井田まちづくり協議会（地域の企業、住民、小中学校により構成）
リンク	http://www.takaida.jp/
部局／担当者名	高井田モノづくり体験塾担当 平井
連絡先	〒577-0067 東大阪市高井田本通4-7-17 高井田まちづくり協議会（高井田西公民分館内） TEL・FAX：06-6781-3380
推薦市町村名	大阪府、東大阪市